

科目「財務会計Ⅰ」における
「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導方法と評価

一EDINETを活用した授業実践 主体性と思考力を育む工夫と評価の充実一

愛知県立犬山高等学校

1 学習指導案について

5 単元計画 (2) 単元概要（目標）

何ができるようになるのか	
損益計算書の作成に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な財務諸表による適切な会計情報の提供について、組織の一員としての役割を果たすことができるようになる。	
何を学ぶのか	どのように学ぶのか
財産法と損益法、報告式の損益計算書の表示区分と作成法について学ぶ。また、資料を基に報告式の損益計算書を作成する方法を学ぶ。	企業の 収益構造を可視化 し、 同業種企業を比較 する。ペアワーク、グループワークを通じてビジネスモデルの違いについて思考を深め、それぞれの気づきや考えを共有する。

主体的に学習に取り組むための工夫

1 学習指導案について

仮説① 「興味をもてる」分野であれば、
主体的に取り組めるのではないか

仮説② 「可視化したデータ」であれば、
思考・判断・表現しやすいのではないか

主体的な態度を引き出すための仮説

1 学習指導案について

5 単元計画 (4) 単元の指導及び評価計画（一部抜粋）

指導 時間 本時	各時間の指導内容	重点評価	評価方法 (※Bの基準)
		記録に残す評価	
3	業種理解・企業理解	【C】 【B】	グループワーク ※比較した情報の違いを根拠に自身の考えを説明できている（5分を目安に各グループの活動を観察）。 ワークシート

主体的な態度をどのように評価するか

1 学習指導案について

6 本時の学習

(3) 本時の授業展開 (一部抜粋)

段階	時間	学習内容	学習活動	観点	評価	指導の留意点 評価のポイント
展開	25	グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> 企業間比較を行うことで、特定の業種(業界)における違いについて思考を深める。 ビジネスモデルについて数値を根拠とした仮説を立てる。 可視化したデータや有価証券報告書の内容を確認する。 	【C】	○	<ul style="list-style-type: none"> 分析の基本は比較にあることを強調する。 違いに注目して思考を深めるように意識させる。 意見交換しやすい環境を構築することを意識させる。 ビジネスモデルの仕組みについて 数値を根拠とした仮説を立てるように強調する(5分程度で各グループを観察し、「場面別評価基準表」を使用して評価する)。

評価のポイントを明確に説明しておく

2 授業展開について

2 時限目

- 授業展開の説明
- 配付データと連動した記入欄
- ペアワークでの気付き

3 時限目

- グループワークでの気付きと自己評価

4-5 時限目

- 資料作成
- 発表と自己評価

単元を見通したワークシート

2 授業展開について

配付データ

- EDINETの財務情報の数値を入力するだけでグラフができる
- ワークシートの記入欄と連動
- 可視化されたデータから気付きを促す

まずは一緒に活動してみる

3 授業の様子について

- ① 調べる企業を選択 注：上場企業であること、グループ内で両業種とすること
業種: _____ 業界: _____ 企業名: _____
- ② 配付データ (Excel) へ金額の入力 注：金額は「EDINET」の有価証券報告書を活用すること
ア 単位は百万円で記載する！(単位以下があった場合は一括して「ない」ともある)
イ 売上高はセグメント別を調べると「気付き」のヒントになる！(「ゲム」で検索)
ウ 販管費も内訳を調べると「気付き」のヒントになる！(産業だと考えるものをpink upすると有利)

	2021	2022
売上高		
売上原価		
販管費		
営業利益		

セグメント別売上高	2021	2022	2021	2022
出版事業				
映像事業				
ゲーム事業				
その他				

- EDINETの財務情報から必要な数値を見つけ、記入させる
- 「気付き」のヒントになるポイントについて意識させる
- ワークシートに記入後、配付データへの入力を行う

活動の指示を的確にする

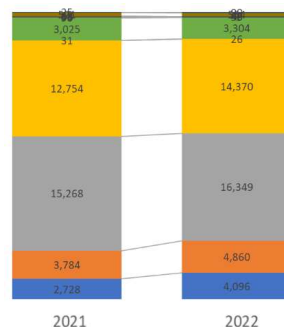
3 授業の様子について



- ・これまでの学びが実社会でどのように活用されているか知る機会になった
- ・興味をもっている企業の財務情報を見て議論を進めていた
- ・可視化されたデータの比較による「気付き」を共有していた

主体的に活動する姿が見られた

3 授業の様子について



- ・金額の推移や規模からは仮説が立てやすい
- ・費用の比率からビジネスモデルの違いに気付けた

可視化されたデータは見やすく気付きを生む

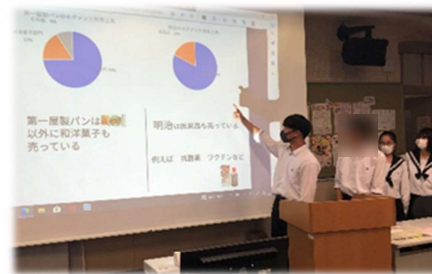
3 授業の様子について



- ・予想以上に議論が活発に行われ、それに伴う質問などの受け答えにより、観察による評価はできなかった
- ↓
- ・各グループを回って質問した
- ↓
- ・ワークシートになぜその仮説に至ったかの説明が記述されていたため、評価の参考にした

活動中の評価のタイミングは難しい

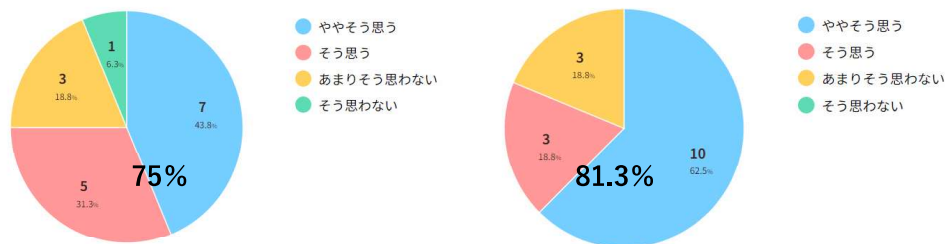
3 授業の様子について



発表は苦手だが向上心はある

4 アンケート結果について

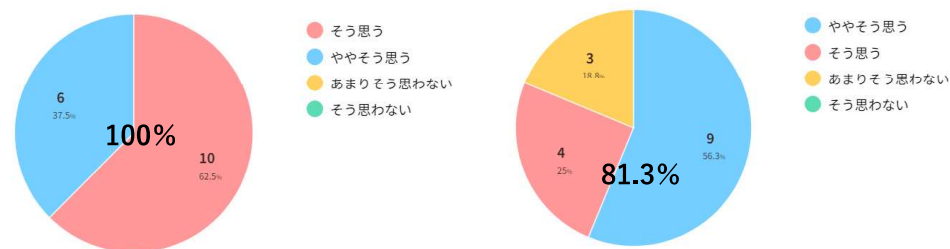
【1】 EDINETを活用した一連の授業は楽しかったですか？ 【2】 調べたり考えたりする取組が多い方がよいと思いますか？



主体的に取り組む授業に肯定的である

4 アンケート結果について

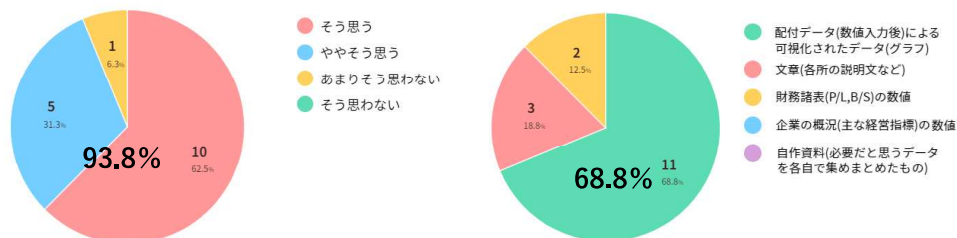
【3】 ペアワークやグループワークなどの活動が多い方がよいと思いますか？ 【4】 プレゼンテーションなどの発表をする機会が多い方がよいと思いますか？



根底にあるのは自己肯定感の低さ

4 アンケート結果について

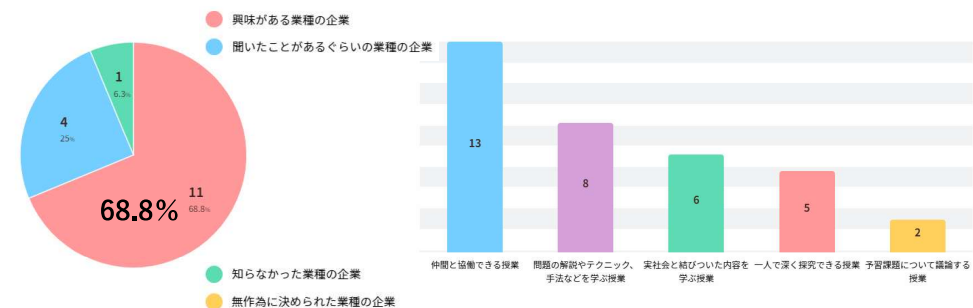
【5】 評価のポイントは事前に知りたいですか？ 【6】 有価証券報告書などの情報で思考しやすかったものはどれですか？



評価のポイントは事前に伝えるべき

4 アンケート結果について

【7】 どのような企業を調べたいですか？ 【8】 どのような授業であれば主体的に取り組めますか？



興味があること、仲間と協働できること

5 まとめ

① 主体性と思考力を育む工夫

- ・ ペアワークやグループワークなど、仲間と協働できる授業展開をする。
- ・ 生徒が学ぶ楽しみを実感できる授業を行う。

② 評価の充実

- ・ 評価のポイントを先に伝える。